



三次中央会報

ロータリークラブ

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19
 TEL (0824) 64-1245
 FAX (0824) 64-1245
 E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
 http://mcrc.server-shared.com
 例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1
 三次グランドホテル
 例会日 / 月曜日 12:30～13:30

2022-2023 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム 出前講座 「次世代に伝えよう貴重な文化財」
 三次市 友廣美和様
- 次回例会日時 2023年2月6日(月) 19:00～
- 次回プログラム ゲスト講演
 三次税務署職員「インボイスについて」

会長 / 沈 勝 義
 幹事 / 中 島 清 貴

●2022～23年度 国際ロータリーのテーマ



●2022～2023年度 三次中央RCスローガン

ロータリアンであることを
 強くイメージし、
 奉仕の喜びを分かち合おう

■第1370回例会記録

- 日時.....2023年1月23日(月) 12:30～
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「奉仕の理想」.....全員
- ゲスト紹介
 三次市長 福岡誠志様

■開会挨拶.....沈 会長

旅行をしない理由

皆さんこんにちは。本日は毎年新年の恒例行事となっております、三次市長による、施政方針に関するご講演をお願いしております。市長には、三次市の将来について熱く語っていただき、私たちも是々非々でしっかりと協力して行きたいと思えます。福岡市長、後ほどよろしく願いいたします。

ところで、年末年始に限らず、皆さん最近どこかに、旅行をされていますか。先日、スマホをいじっていると、「二度と旅行しない」と答える日本人の割合に愕然…」というSNSの記事が目につきました。

パンデミックの影響が収まりつつあるにも関わらず、なぜ旅行をしたがらないのか？米メディア「CNBC」が取り上げた、15カ国16,000人の成人を対象に行った調査によると、「二度と旅行しない」と答えた人の割合が高いのはアジアで、調査結果によると、韓国の約15%、中国の約14%の人がそう答えています。その中でも飛び抜けているのは日本で、35%の人が「二度と旅行しない」という回答を選んだそうです。

回答者は、昨年4月と7月の2回調査を受けたそうで、今後の3ヶ月間や12ヶ月間に旅行を計画している人も若干増えたようですが、依然として「二度と旅行しない」と考える人の割合が多かったようです。



また、今後1年間に旅行する予定だと答えた、日本の回答者の割合が約45%なのに対し、中国では65%、韓国では66%だったようです。ちなみにドイツでは、77%が今後1年間に旅行をする予定だと回答しています。

今回の調査は「旅行」であり、国内や海外に限ったものではありませんが、そもそも日本人のパスポート所持率は、約23%とG7諸国の中では最も低いようです。

米経済誌「Forbes」は、今回の調査からみえた、日本人が旅行をしない理由を5つ取り上げています。

【1】リスク回避

コロナ渦の影響の1つは、人々が旅行中に感じる健康と安全のリスクです。旅行はより多くのものにさらされるだけでなく、母国の医療サービスからも遠く離れてしまうため、人々を不安にさせるのです。日本では、「文化的にリスク回避を好む」傾向があり、それが家にいることを誘引している、と研究者は述べています。

【2】ストレスと不安

世界中のどこでも素早く行けるようになったとはいえ、旅にはストレスがつきもので、人々に不安を与えます。海外では言葉の壁などが原因として挙げられています。

【3】仕事と家計

休みが少なく、休暇をとれないという労働環境があります。また、近年は、円安やコロナ禍の影響もあり、旅行費用が大きな問題です。

【4】旅行がもたらす環境への影響

日本ではそこまで感じませんが、旅行が資源に負担をかけ、環境に悪影響を及ぼすと考えている、持続可能性と環境主義を主張する一部の人々にとって、航空機の二酸化炭素排出、地域資源を利用したメガリゾート、旅行による地域生活の乱れなどの現実があります。

【5】日本の環境のよさ

最後に、海外旅行への関心が低い理由として、国内の選択肢が豊富であることが挙げられました。報告書によると、日本の豊かな自然、歴史、文化が、自国内での近い場所を探索する動機付けになっているとのこと。

以上、ユニークな調査報告でしたが、コロナ自粛から脱却し、経済活動を活発にさせる一つの手段として、身近なところからの旅行を検討してみませんか。幸いわがクラブには内外旅行社の信国さんがいらっしゃいますので、皆さんの期待に十分応えて頂けるものと信じております。私達も信国さんにお世話して頂き、3月には玉造温泉で1泊2日の出張理事役員会を計画しております。1に親睦、2に親睦。親睦なくしてロータリー無しという先輩のご意見を大切に、今年も活動して行きましょう。

以上で、会長挨拶を終わります。ありがとうございました。

■幹事報告.....中島幹事

- ロータリー財団より寄付金の領収証が届いております。
- 防府ロータリークラブ創立65周年記念誌を回覧しております
- 3月21日の庄原ロータリークラブ記念式典出席の方でバス利用される方は記入してください。回覧しております。

■出席報告.....平田委員長

●第1367回 12月12日

会員数	35名	Make-up	1名
欠席	5名	出席合計	31名
欠席者のうち規定免除	2名	出席率	93.93%

- Meke-up...中西君
- 第1370回 本日の出席は35名中31名です。

■SAA.....石田SAA

- ゲスト、三次市長よりご出宝
- 会員ニコニコBOXご出宝

栗本君 福岡市長をお迎えして。家内の誕生日の花に感謝。(大口)

沈君 福岡市長、ようこそ。本日はよろしくお願ひします。

大井君 福岡市長をお迎えして。よろしくお願ひします。

「ゲストに福岡市長をお迎えして」

沖君、酒井君、安藤君、光永君、水野君、信国君、池田君、村竹君、上田君、和田君、井上君、松本君、杉谷君、平田君、角谷君、石田君

ニコニコBOX本日出宝額 28,000円

東北地震復興のための「復興特別所得税」とは

平成25年から令和19年までの25年間、
基準所得税額×2.1%

住民税は復興のための特別の住民税として、平成26年から令和5年までの10年間、都道府県民税、市区町村民税の均等割額にそれぞれ500円が加算される。

情報提供：平田会員

福岡誠志市長は47歳、今年任期4年目です。元気な三次を目指して頑張ってほしいと思っています。きょうは今後の三次市の方針などについて話していただきたいと思っています。

井上幸三プログラム委員長

市政報告

今あるものを生かし、新しい動きを生み出す



三次市長
福岡 誠志

新年になり、こうして三次中央ロータリークラブさんにお招きいただき、温かい拍手で迎えられましたこと、嬉しくまた、感謝しております。

2019年に市長になりこの4年間いろいろなことがありました。コロナ、豪雨災害、鳥インフルエンザなど。こういう危機に直面した時、行政としては命と暮らしを守るのが最善のことと認識しております。これからもいろいろな局面に立たされると思いますがしっかりとやっていきたいと思っています。

私のモットーの一つとして、まず、「今あるもの、三次にしかない物を磨き上げ、新たな価値を作っていきたい」ということです。

1 「三次の拠点性」魅力を再認識/発信

「元気な三次」づくりに向けて

- 経済活性化、景気対策(中小企業支援・雇用支援、企業誘致)
 - ・民間投資の活発化(ホテルチェーンの誘致:70名~80名、CCプラザ建替など)
 - ・三良坂産業団地に企業誘致((株)シンセイ:10名の雇用)
 - ・第3期工業団地に企業誘致
 - ・PayPay連携事業、「三次藩札」
- 女子野球の取組
 - ・広島カープ球団との連携/2千万円の寄付
- 情報発信(シティプロモーションの取組など)



今回のコロナにより、人々の生活や価値が変容してきたと同時に、日本の国の脆弱さが露呈してきたと思います。38%の食料自給率、半導体のほとんどを海外に依存、多くのものが構造的問題を孕んでいます。政府がIT化を掲げていましたが、コロナ禍により飛躍的に進んできました。コロナが大きなきっかけを作ったと言えます。デジタルを活用しながら生活を作っていくつもりです。いくつかのことを話させていただきます。

三次は中国地方のヘソです。しっかりとした魅力、ポテンシャルと可能性を秘めています。ただ、外部から来られた方から、三次は泊まる所がない、ホテルの予約が取れない。という声をよく耳にします。宿泊施設は一つの課題です。三次駅の近くにホテルの誘致をする事ができました。5月のゴールデンウィークまでにはオープンに漕ぎ着けそうです。またこのホテルの開業により新たに、70~80名の雇用、三次の食材の活用、また、会議所への加入などにもつながりそうです。三良坂に工業団地ができ、28年間未活用だった地にこの度、東北の会社の誘致に成功しました。その会社の社長さんの話を伺うと、三次の交通の要所ということが決め手になったという事です。

コロナ禍により厳しい局面にさらされた市民の方への経済支援策の一つとして、paypay第3段、また、藩札を3月から追加発行します。

「女子野球タウン」三次 誕生(R3)



また、立派な運動公園の活用として、女子野球の取り組みを数年前から行っています。女性の皆さんに愛される街、住みやすい街としてのアピールも一つの目的です。泊まっていただき、美味しい物を食べていただき、お金を落とすとしていってもらう。この女子野球は広島東洋カープからも後押しをいただき、2,000万円いただいています。現在進行形でカープと一緒に事業を進めています。何よりカープと一緒に、ということで心強い限りです。

三次の拠点性、利便性の活用をし、運動公園の利用率をもっともっと高めたい。合宿を誘致をして、観光消費に結びつけたいのです。

今、特に力を入れているのは「情報発信」です。スピーディーな情報発信を実現したいということで、公式SNS、三次市公式SNSのラインをアップしています。緊急な事態の発生、天候に関する事など、情報をいち早くお届けする事が可能です。三次市のSNSに登録されてない方は、ぜひ登録していただきたいと思います。

また、この1月26日より三次市のホームページを全面リニューアルいたします。楽しみにしておいてください。

シティプロモーションの取り組み、もっと市の魅力を市内外に発信したい。この取り組みの一環として、市内の高校生、修道大学生との連携など、若い感覚も大いに取り入れています。昨日、一昨日と広島市で三次の産物の販売アピールをしました。もっともっと人口の多い市場で三次の産物を消費してもらえればと、今後いろいろな機会を利用し活動したいと思います。

今年5月のG7広島サミットはそのいい機会と捉えています。日本、そして世界へと三次ならではの農産物を知っていただける好機です。そのための活動を展開したいと思います。コロナ

と共に地域経済を回していかなければなりません。海外からのインバウンドも戻ってきています。大阪万博、世界バラ会議福山大会など、観光振興、経済振興へと三次を発信していきます。



三次の魅力ある資源を磨き上げ、来られた方へのおもてなしとして活用する。最近、アウトドアブームとも言われています。三次の自然、空気、水、これらの素晴らしさを知って体験していただきたい。また、農林水産業の振興策として、漢方薬剤の栽培を6品目に絞り試験しています。それがクリアできれば漢方薬剤として利用いただけることになります。健康寿命100年と耳にします。健康志向の今、JAと連携しながら進めています。

学校給食調理場の建設が進んでいます。子供達に地元の食材を提供し、農業振興に役立てる一躍を担っていくのも目的の一つです。

社会問題の解決に向けて、近隣市町村との連携を推進し、広島高域都市圏に加入、広島県水道広域連合企業団の取り組み、観光分野における高域連携の取り組み、そして今、大きな話題として挙がっている、地域公共交通に関する取り組み。共創での地域づくり、三次市の産業づくりにこれからも取り組んでいきたいと思っています。今後ともご指導よろしく願いいたします。

